



↑卒業証書を受け取る福山さん

★ 町内の小中学校で卒業式 思い出を振り返り涙の別れ

3月13日は中学校で、24日は小学校で卒業式があり、汐見小学校（竹内功校長）では、福山涼太さんが6年間学んだ母校を巣立ちました。

式の前に、福山さんの小学校生活6年間のまとめた映像がスクリーンに映し出され、保護者とともに在校生や地域の人たちが成長の過程をなつかしみました。

式では、竹内校長が「汐見小学校で学んだことを、これからの生活にいかして。中学校に進んでも、思いやりの気持ちを持って、何事にも積極的に取り組んでください」と励ましました。福山さんは、6年間の思い出を話した後、保護者や在校生に向かって「6年間ありがとうございました。中学校に進んでも勉強や部活を頑張ります」とお別れの言葉を述べ、歌を披露しました。

今年度、町内の卒業生は中学校97人、小学校99人でした。

★ 竣工式と除幕式を実施

蔵之元港を整備

3月19日、蔵之元漁港^{みなと}整備交付金事業の竣工式と除幕式が、同港でありました。

この事業では、事業費3億2千万円余りをかけ、80^{メートル}の防波堤や100^{メートル}の物揚場を整備しました。

神事では川添健町長をはじめ、工事関係者や地区の関係者など約30人が出席し、完成を祝いました。

完成した港は今後、台風などの緊急時に周辺地区の船舶の避難港などに利用されます。



↑竣工を祝う記念碑の除幕式の様子



↑獅子島のミカンを求めてできた長蛇の列

★ 獅子島フェアを開催

島のミカンに長〜い行列

JR博多シティ（福岡市）の屋上庭園つばめの杜ひろばで3月15日、獅子島フェアが開催されました。

フェアは、獅子島をもっと県内外に広くアピールすることを目的に、獅子島の特産品「紅甘夏」と「デコポン」を来場者に無料配布しました。

フェアには生産者の池元直美さん（片側）が参加し、無料配布にあわせ持参した手づくりの『紅甘夏のシフォンケーキ』の試食を行いました。池元さんは「貴重な体験ができた。あつという間にミカンもケーキもなくなった」と笑みを浮かべました。